

ウィークリー・マーケット・ ダイレクション (2026年8月3日～8月7日)

Trust must be earned



“米国企業の決算発表が進むなか、幅広いセクターで利益成長が確認されています。ただし、表面上の数字だけでなく、裏側にあるデータや業績見通しの質にも引き続き厳しい目が向けられています。全体として、分散投資と銘柄選別の重要性が改めて浮き彫りとなりました。”

モニカ・ディフェンド

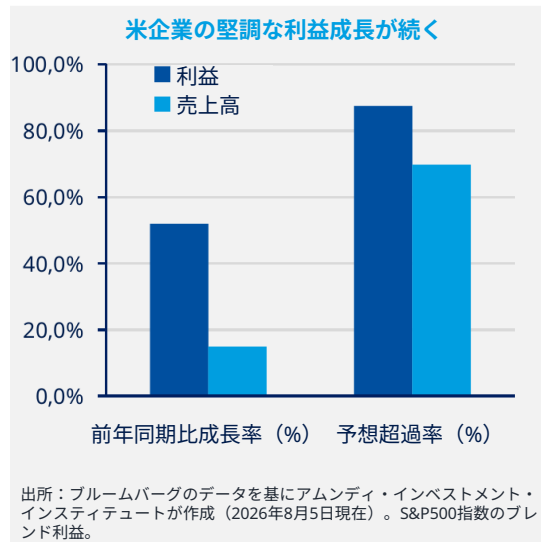
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

米企業、堅調な利益成長が続く

第2四半期の米国企業の利益成長は堅調で、予想を上回る決算を発表した企業の割合は高水準となっています。

ITとその周辺セクターが引き続き利益成長をけん引していますが、AI関連需要が幅広い企業の業績を下支えするなか、他のセクターも寄与しています。

予想を上回る決算が相次ぐなかで投資家は選別色を強めており、表面上の数字だけでなく、裏側にあるデータや決算見通しも重視していることがうかがえます。



S&P500構成企業の約8割が決算発表を終えるなか、米国では前四半期に続き、第2四半期も好調な決算となる見通しです。決算発表済み企業の実績と未発表企業の予想を合わせた利益（ブレンド利益）は前年同期比約52%増となっています。前四半期と同様、一部の大手テック企業が保有する未公開株の投資益を含む「営業外収益」が表面的な数字を押し上げた格好ですが、調整後ベースで見ても堅調な利益成長を維持しています。決算を発表した企業のうち、利益予想を上回った企業の割合は8割を超え、5年ぶりの高水準となっています。情報技術（IT）とその周辺セクターが引き続き利益成長をけん引していますが、エネルギー、金融、資本財、素材でも上振れが目立つなど、他のセクターも寄与しています。欧州では、ブレンド利益が前年同期比26%増となっています。エネルギーが主要なけん引役ですが、エネルギー以外の利益成長も堅調であり、引き続き金融が力強さを見せる一方で、一般消費財が足かせとなっています。

この日
に注目



8月12日

インドCPI、イタリア・ドイツCPI、米国CPI

8月13日

日本PPI、英国第2四半期GDP、ユーロ圏鉱工業生産、米国PPI

8月14日

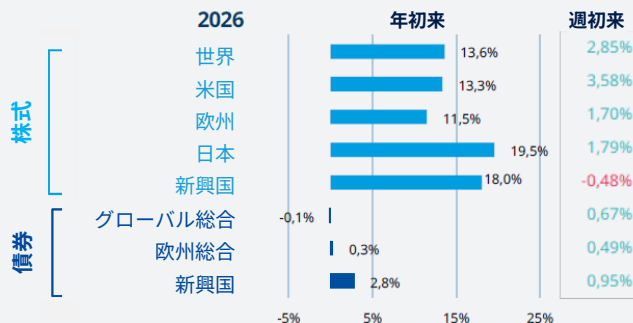
インドPPI、ユーロ圏第2四半期GDP、米国小売売上高・消費者信頼感

今週の市場動向

株式市場は新興国を除いて軒並み上昇しました。投資家の関心が好調な企業決算に向かったことや、中東情勢の緊張緩和期待で原油が大幅に下落したことが背景にあります。人工知能（AI）トレードが再燃したことで、米国株式は他の市場を上回る上昇率を示しました。原油価格は、ホルムズ海峡を通過する船舶が増加するとの期待から下落しました。追加利上げ観測の後退を背景に、米国の国債利回りは低下し、金（ゴールド）は上昇しました。

株式・債券市場

資産クラスの
年初来、週初来の
パフォーマンス



出所：ブルームバーグ（2026年8月7日現在）。各指数の補足情報については最終ページをご覧ください。

国債利回り

2年物、10年物国債
利回りと前週比の
変化

	2年物		10年物
	米国 4.20 ▼		4.65 ▼
	ドイツ 2.75 ▼		3.13 ▼
	フランス 2.92 ▼		3.92 ▼
	イタリア 2.91 ▼		3.90 ▼
	英国 4.28 ▼		4.92 ▼
	日本 1.60 ▲		2.79 ▲

出所：ブルームバーグ（2026年8月7日現在）。直近1週間の変化を示したものの。補足情報については最終ページをご覧ください。

コモディティ、為替、短期金利の水準と前週比の変化

金 (ゴールド)	原油	ユーロ/米ドル	米ドル/日本円	英ポンド/米ドル	米ドル/人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
米ドル/オンス	米ドル/バレル						
4341.56	78.18	1.16	157.76	1.35	6.75	2.47	3.80
+7.30%	-7.7%	+0.28%	+0.23%	+0.1%	-0.1%		

出所：ブルームバーグ（2026年8月7日現在）。各指数の補足情報については最終ページをご覧ください。

各地域のマクロ経済動向

米経済活動が勢いを増す

7月の米国の製造業活動は拡大圏を維持しました。同月の米サプライマネジメント協会（ISM）製造業景況感指数は55.6に上昇し、製造業の拡大ペースはこの数年で最も高い水準となりました。内訳をみると、生産と新規受注が上昇したほか、雇用が拡大に転じ、コスト圧力も緩和しました。ISMサービス業景況感指数も54.1と前月から小幅に上昇しており、事業活動と受注が改善し、関税や中東情勢を巡る懸念が和らぐなか、サービス業が引き続き拡大局面にあることが示されました。ただし、雇用は縮小圏に落ち込み、物価上昇圧力は強まりました。

南北アメリカ



ユーロ圏経済活動、拡大圏に浮上

7月のユーロ圏総合購買担当者景気指数（PMI、確報値）は速報値から小幅に上方修正され、6月の50を上回る52となりました。拡大圏に浮上したのは3月以来のことです。指数は幅広い項目で改善しており、第3四半期が好調な滑り出しとなったことがうかがえます。サービス業は大幅に回復し拡大圏に転じ、製造業の生産も引き続き拡大し、底堅さを維持しました。また、仕入価格と販売価格の上昇ペースがともに鈍化したことで、インフレ圧力も和らぎました。

欧州



インド中銀、金利据え置きを決定

インド準備銀行（RBI）は政策金利であるレポ金利を5.25%に据え置き、データを注意深く確認しながら、インフレ動向を見極める姿勢を維持しました。RBIは足元の物価上昇圧力が一時的な供給ショックによるもので、物価全般に波及することはないとの見方から、経済成長率の見通しを小幅に引き上げ、総合インフレ率の見通しを引き下げました。最近、原油価格が世界的に下落したことや、モンスーン期の雨不足が解消しつつあることから、目先の物価上昇圧力が和らいでおり、金融引き締めを急ぐ必要性は低下しています。

アジア



備考

ページ2

株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。**世界株**=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、**米国株**=S&P 500（米ドルベース）、**欧州株**=欧州 Stocks 600（ユーロベース）、**日本株**=TOPIX（円ベース）、**新興国株**=MSCI新興国（米ドルベース）、**グローバル総合**=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、**欧州総合**=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、**新興国債券**=JPモルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.

This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction.

Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.

Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.

Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of **7 August 2026**. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.

Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.

Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.

Date of first use: **7 August 2026**

Doc ID: **5822430**

The content of this document is approved by Amundi Asset Management, a French société par actions simplifiée, a portfolio management company approved by the “Autorité des marchés financiers” or “AMF” under the number GP 04000036 whose registered office is located 91-93 boulevard Pasteur, 75015 Paris – France –, under the Paris trade register number 437 574 452 RCS Paris – www.amundi.com

Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus

MSCI Disclaimer available [here](#)

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第350号
加入協会：一般社団法人 資産運用業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

(5838130)